

普仙寺だより

<<

>>

第162号 平成20年12月



平成20年11月18日 第38回吉水講詠唱三河大会
アイブラザ岡崎で成果発表をする普仙寺吉水講員

第38回吉水講詠唱三河大会に参加

去る11月18日、第38回吉水講詠唱三河大会に参加し、「秋の御詠歌」をお舞をつけて発表しました。

舞

岡田命恵さん、白井勝子さん、加藤桂子さん

詠題

牧野恵子さん

お唱え

谷山好江さん、上山和子さん、岡田里見さん、岡田さとえさん、
谷山八千代さん、黒柳花子さん、西郷嘉寿美さん、鈴木好江さん、
牧野まつゑさん、牧野せい子さん、小林みち子さん、谷山きくさん、
加藤良子さん、神山盛二さん、岡田チエコさん、藤田みち枝さん、
杉本かつさん、杉浦幸子さん、杉浦きく子さん、牧野正代さん、
柴田佳恵さん、加藤良光

見学

杉浦志づゑさん

浄土宗は2001年、「愚者(ぐしゃ)の自覚を、家庭にみ仏の光を、社会に慈しみを、世界に共生(ともいき)を」とする「21世紀劈頭宣言(へきとうせんげん)」を発表、世界平和について発言し、行動してきました。

しかしながら、本宗の近代において、軍用機を陸海軍に献納するなど、様々な戦争協力の事実は否定することができません。これに対し、例えば1994年、浄土門主(じょうどもんす)は『太平洋戦争五十回忌法要』表白において、戦役に助力した重責に対する懺悔、すべての戦没者の鎮魂・慰霊、世界平和への祈念を表明いたしました。

わたしたちは、そのころを受け、浄土宗が世法(せほう)の国策に従いいかなる言動を行ってきたか、歴史的検証を行うことこそ、世界平和の実現に、あらためて必要なことだと確信します。

わたしたちは、自らの愚かさを自覚した上で、戦争責任について自省し、アジア太平洋地域の人々の人権と尊厳を侵し、戦争による惨禍と多大なる犠牲を強いたことを、ここに深く懺悔(さんげ)します。

わたしたちは、法然上人の念仏の教えにより、再び同じ過ちを犯さないこと、すなわち被爆国広島の地において非戦・非核武装を誓い、未来に向かって慈しみにあふれた共生・平和の社会を創るために行動することを、ここに宣言します。

平成20年11月19日

浄土宗宗務総長 稲岡康純

住職加藤良光は平成20年11月19日、広島市妙慶院にて行われた浄土宗世界平和念仏別時會(べつじえ)に参加しました。浄土宗宗務総長が平和アピールを発表されましたのでここに掲載します。

参加案内・総本山知恩院成人祝賀式

京都の知恩院では例年、新成人を祝う式を開催しています。普仙寺檀信徒または有縁の新成人の方にご参加頂きたくご案内いたします。

日時

平成21年1月10日(土)

会場

総本山知恩院(京都市東山区林下町)

対象

昭和63年4月2日より平成元年4月1日までに生まれた方

日程

受付 午前9時

解散 午後3時

付添者

付き添いの方も式典に参加できます。

費用

運賃は当日、個人で負担してください。(参考・新幹線京都往復13,640円)

知恩院の参加費用は要りません。

定員

ありません。

申込

所定の申込用紙に必要事項を記入して普仙寺へ

締め切り

平成20年12月18日



[参拝案内] 総本山知恩院伝宗伝戒道場満行式とお身拭式

浄土宗の僧侶には一生に2回の籠行(おこもり)があります。第1回目の籠行(おこもり)を伝宗伝戒道場(でんしゅうでんかいどうじょう)とい
います。

お身拭式(おみぬぐいしき)とは知恩院大殿の法然上人の御像を、御門跡自ら拭かれる式です。

日時

平成20年12月25日(木)

集合場所

豊橋駅新幹線改札前

集合時間

午前7時15分

日程

午前7時24分 新幹線こだま号乗車
午前9時30分 伝宗伝戒道場満行式
午前11時 大殿日中法要
正午 昼食
午後1時 お身拭式
午後4時05分 京都駅より新幹線乗車
午後5時27分 豊橋駅着・解散

申込締切

12月20日までに、所定の申込用紙に必要事項を書いて普仙寺へ

費用

- 知恩院参拝費1,000円
- 新幹線京都往復13,640円

800年前の法然上人

今から800年前、承元2年(西暦1208年)の12月、法然上人にはどのようなことがあったのでしょうか。

法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、この年の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に行くこととなりました。

800年前の今月をもって、法然上人は、勝尾寺に居られることまる一年になりました。

寺行事案内

土曜礼拝 (どようらいはい)

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

12月13日からは

- 後編第13章 無比法楽
- 後編第14章 四修
- 後編第15章 日課
- 後編第16章 念珠

浄焚式 (じょうぼんしき)

12月31日(水) 午後9時より

古い塔婆・位牌・お札等お焚き上げします。

除夜の鐘 (じょやのかね)

12月31日(水) 午後11時30分より

参加者は全員撞くことができます。

修正会 (しゅしょうえ)

平成20年1月1日(木) 午前8時30分～9時

年頭のお勤めです。

参拝の方には元旦朱印と招福茶を差し上げます。

月並法要 (つきなみほうよう)

平成20年1月8日(金) 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

住職説教（じゅうしょくせっきょう）

平成20年1月25日（月） 午後7時～8時

この日は、浄土宗の開祖法然上人の祥月忌日です。法然上人は建暦2年（1212）の正月25日の正午、大谷の禅房（現在の知恩院勢至堂の場所）にてご往生なされました。お年は、お釈迦様と同じ80歳でした。法然上人のご生涯を普仙寺本堂に掛けた絵伝を指しながらお説教させていただきます。

| [普仙寺トップ](#) | [サイトマップ](#) | [住職の研究](#) | [精霊流し](#) | [普仙寺由来](#) | [年間行事](#) | [掲載記事](#) | [境内案内](#) |
| [周辺地図](#) | [普仙寺だより](#) | [映像配信](#) | [音楽配信](#) | [住職の短歌](#) | [関連リンク](#) | [明照保育園](#) |